

特別企画：中古品販売業者の倒産動向調査（2018年）

2年連続で過去最多を記録

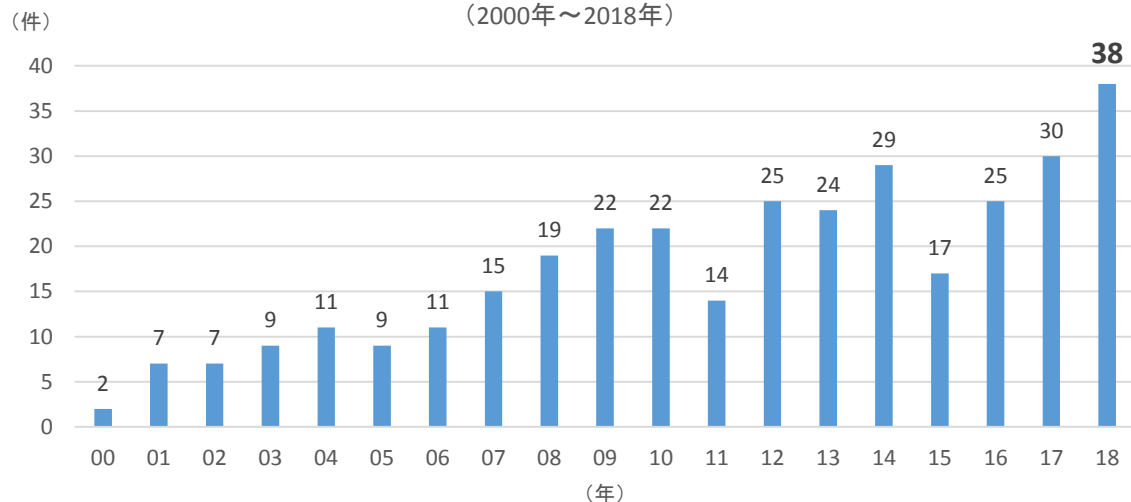
～小規模企業の淘汰進む～

調査結果（要旨）

1. 2018年の中古品販売業者（※）の倒産（負債1000万円以上、法的整理）は38件となり、2017年（30件）を上回り過去最多を更新した
2. 負債額別では、「5000万円未満」が29件（構成比76.3%）で最多となり、小規模企業が倒産件数を押し上げた
3. 倒産態様別では、「破産」が36件、「特別清算」が1件、「民事再生」が1件となった
4. 38件の負債総額は33億3700万円。最大の負債額は、子供服のリサイクルショップを営む（株）AKIRA（東京都江東区、10月、破産）の約13億1300万円

※衣類・家具・本などの中古品販売事業を主業として行っている企業が対象で、中古自動車販売業者は含んでいない

中古品販売業者の倒産件数推移
 （2000年～2018年）



【 内容に関する問い合わせ先 】

(株) 帝国データバンク 東京支社 情報部 瓦田 真人
 TEL 03-5919-9341 FAX 03-5919-9348
 e-mail: masato.kawarada@mail.tdb.co.jp

当レポートの著作権は株式会社帝国データバンクに帰属します。

当レポートはプレスリリース用資料として作成しております。報道目的以外の利用につきましては、著作権法の範囲内でご利用いただき、私的利用を超えた複製および転載を固く禁じます。